

景観(けいかん)

景観ってなに？

～人は見たいものを見ている～



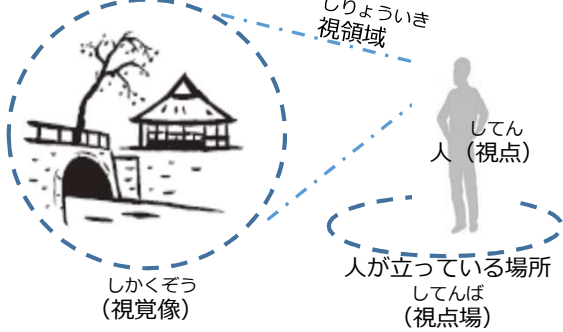
人が見たいものをいつも優先的に見るのは、そこがどのような場所なのか見えるものから理解しようとするからです。



写真の中には列車、山、桜、たて物、鉄道などがあるけど、何が見える？と聞かれると、「橋とおる列車」と答える人が多いよ！



私達は目を開けば見えていますが、見えるもの全部を同じように見ていません。見たいものを優先して見えています。見たいものは人によって違いますが、景色を見るとき、多くの人はその見ている場所を特長づけるものを優先して見るといわれています。



景観とは景色とどう違うのでしょうか。

難しく考える必要はありません。人が見ている景色が景観です。

景色

人がいなくても、その場所にあるものです。

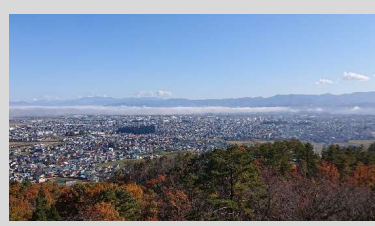
景観

人が見る(観る)景色のことです。左の絵の部分が景観です。

景観例1 自然の景観



景観例2 まちの眺望景観



景観例3 人の活動の景観



「よい景観」とは何か？

- ①見たいものが見やすいと、人はその景色を見続けたり、目を奪われたりします。
- ②見たときに、自分の居心地がいいと、その景色をよいものと感じます。



地域の特長の温泉宿のまちなみが「電線、電柱等のさえぎるもの」がなくて見やすい例



「どうぞここに座って庭を見て下さい。」と聞こえてくるようにテーブルがあります。これも見た人が心地よく感じることに繋がります。

身近にある「よい景観」を発見しよう！

山形県には、感動できるような美しい自然景観やまちなみ景観がたくさんあります。景観を考える一歩目として、身近にあるすばらしい景観に出会いましょう。



「よい景観」はどのように作る？



- ① 見ている場所を、居心地よく、見やすい場所にすること。
- ② 見ている場所と見ているものの中にじゃまなものがなく、見たいものを見やすくすること。



標識撤去前
(ひょうしきてつきよまえ)



標識撤去後
(ひょうしきてつきよご)

← 視点場と視対象
の間にある道路
標識を撤去した
事例

景観には、新しくかっこいいたて物や、かわいいアートはなくてもよくて、美しいまちや自然(しぜん)を見やすくすることがとても大切なんだね。

↑ 見ている場所が居心地よく、見やすい場所に整備された事例

道路標識がないだけで、文翔館のながめが良くなりました。文翔館をもっと印象的に見てほしいという思いから、標識を撤去しても、事故などがおきない道路づくりの検討をかさねて、美しい文翔館の景観ができあがりました。

山形県の取組み

「大きな建物」や「広告の看板」が計画されるときは、「大きさ」「高さ」「色合い」などのルールを守ってもらう取組みをしています。これでその場所のまわりのよい景観を守っています。



景観がよい場所は、人をひきつける魅力があるんだ。

景観がよい場所には、多くの人があるから、その近くのお店でご飯を食べたり、おみやげを買ったりする人も多くなる。すると、その地域全体の観光関係の仕事が盛んになるんだ。実際に、有名な観光地の近くには、おみやげ屋さんのお店がたくさんあつたりするよね！

よい景観をみんなの世代に引きつぎたい

美しい景観は、地域の人の活動で守られています。

皆さんの世代により景観を引きついでいく取組みは、実は、皆さんの身近な場所で沢山行われています。山形県では、このような地域づくり・まちづくりに取り組む活動を多くの人にお知らせし、地域活性化につながるよう応援する活動をしていきます。



立谷川の芝桜(天童市荒谷～山形市大森の立谷川河川敷)
河川緑化ボランティアグループ「立谷川の花さかじいさん」の活動
第4回未来かがやくやまがた景観賞「山形県知事賞」(令和3年)



楯山からの金山の街並みと月山・葉山の眺め(金山町金山)
「楯山を愛する会」の活動
眺望景観資産第8号(H29.12.26指定)

山形県の取組み

将来の世代に引き継いでいくべきよいながめの場所を「眺望景観資産」に指定しています。

皆さんが大人になっても、良い景観のまま残るようにする制度です。



眺望景観資産第6号(H27.3.17指定) 大山公園～尾浦八景～からの自然と市街地と庄内平野をとりまく山々の眺め

山形県の取組み

よい景観の場所(ビューポイント)の整備

山形県ならではの美しい景観を見ることができる『やまがた景観物語』

おすすめビューポイントを、県内に選定しています。県外からも景観を観に来てくれる人を増やして、県全体の地域活性化を図っています。